

「シェルブールの雨傘」製作45周年記念特別企画
ドゥミナルグラン
ミュージカル女優
ドヌーヴ

Les Demoiselles de Rochefort

色彩とサウンドに酔いしれる最高にHAPPYな人生賛歌



恋は、歌って躍ってつかむもの！

des films enchantés!
Catherine Deneuve
directed by Jacques Demy music by Michel Legrand

ロシュフォールの恋人たち

デジタルリマスター版

1968年米アカデミー賞®ミュージカル映画音楽賞ノミネート

主演：カトリーヌ・ドヌーヴ+監督・脚本・作詞：ジャック・ドゥミ+音楽・作曲：ミシェル・ルグラン
カトリーヌ・ドヌーヴ/フランソワーズ・ドルレック/ジーン・グレイ/ジョージ・チャキリス/
ジャック・ベラン/ダニエル・ダリユ/ミシェル・ピコリ/ダローヴァー・ティル
監督・脚本・作詞：ジャック・ドゥミ/音楽・作曲：ミシェル・ルグラン/撮影：ギラン・クロケ/
美術：ベルナルド・エヴァン/衣裳：ジャクリーヌ・モロー+マリー・クロード・ファーゲ/振付：ノーマン・ミン/製作：マグ・ボダール
1967年フランス=アメリカ合作/配給：ハビネット/宣伝：マジックアワー オリジナルサントラ盤：ユニバーサル ミュージック



「シェルブールの雨傘」製作45周年記念特別企画
ドゥミナルグラン
ミュージカル女優
ドヌーヴ

Les Parapluies

des films enchantés!
Catherine Deneuve
directed by Jacques Demy
music by Michel Legrand

de

恋は、儚く褪せてしまうもの？
美しくも切ないラストに涙する不朽の名作

Cherbourg

シェルブールの雨傘

デジタルリマスター版

1964年カンヌ国際映画祭グランプリ受賞 / 1963年ルイ・ドリュック賞受賞

主演：カトリーヌ・ドヌーヴ+監督・脚本・作詞：ジャック・ドゥミ+音楽・作曲：ミシェル・ルグラン
カトリーヌ・ドヌーヴ/ニーノ・カステルヌオーヴォ/アンヌ・ヴェルノン/マルク・ミシェル
監督・脚本・作詞：ジャック・ドゥミ/音楽・作曲：ミシェル・ルグラン/撮影：ジャン・ラビエ/美術：ベルナルド・エヴァン/衣裳：ジャクリーヌ・モロー/製作：マグ・ボダール
1964年フランス=ドイツ合作/配給：ハビネット/宣伝：マジックアワー オリジナルサントラ盤：ソニー・ミュージック ジャパン/インターナショナル/仏和対訳シナリオ：白水社刊
Photo © Agnès Varda



demy.jp

奇跡のコラボレーション! カトリーヌ・ドヌーヴ+ジャック・ドゥミ+ミシェル・ルグラン

des films enchantés! A Catherine Deneuve Jacques Demy Michel Legrand

主演

監督・脚本・作詞

音楽・作曲



ご存知? フランスの名花カトリーヌ・ドヌーヴは
“ミュージカル女優” だったんです!

『昼顔』(67) 『哀しみのトリスターナ』(70) 『終電車』(80) 『インドシナ』(92)
『ダンサー・イン・ザ・ダーク』(00) 『8人の女たち』(02)...

数々の傑作を彩ってきた、仏映画界が世界に誇る大輪の花カトリーヌ・ドヌーヴ。

近年も『輝ける女たち』(06) や『ベルセポリス』(07) 等新作が相次ぎ、

08年のカンヌ映画祭では特別功労賞を受賞と、いまだ絶えぬ美貌でトップ女優として活躍中のドヌーヴですが、

ターレビューティの印象が強い彼女はミュージカル女優でもあること、ご存知でしたか——?

64年のカンヌ国際映画祭グランプリで、彼女をスターダムにのし上げた大ヒット作

『シェルブールの雨傘』と、その世界的成功を受け製作されたフランス産ミュージカルの大作

『ロシュフォールの恋人たち』(67) の2本では“歌って踊る”ドヌーヴの魅力が全開です。

ドヌーヴからそんな、まったく新しい側面を引き出したのがフレンチミュージカルの名匠

ジャック・ドゥミ監督とくマエストロミシェル・ルグランの最強コンビでした。

彼らの作詞・作曲による不朽の名旋律の数々とドゥミのマジカルな演出、

そしてドヌーヴの可憐さ・キュートさが化学反応を起こして生み出された

『シェルブール』と『ロシュフォール』——

映画史上に燦然と輝く2本が、『シェルブール』製作45年の節目にあたる09年に、

デジタル修正され蘇ります!



映画好きだった母は、小さかった私をよく映画館に連れて行ってくれました。
たくさんの映画を観ていく中で、ある時カトリーヌ・ドヌーヴにめぐり会いました。“映画スター”らしい圧倒的な存在感や、均整のとれた美しさ。とってもエレガントで、今風にいえばオーラがあるということでしょうか。彼女を花に例えれば、ピンク色の大輪のバラ。ノーブルで色気があり、美しい香りが漂うバラは花の女王、まさにカトリーヌ・ドヌーヴそのものです。
そんな彼女が主演の『シェルブールの雨傘』は、音楽と歌とセリフとドヌーヴの存在が完璧に調和した映画。オープニングに流れるテーマ音楽や雨の音、俯瞰ショットでとらえられた色とりどりの傘…。まるで夢をみているような作品です。ほほ笑ましいラブロマンスなのだけれど反戦思想も盛り込まれ、そこはかたない物悲しさを感じさせ、ヒロインの切ない女心や奇跡的ともいえる美しさが、観るものの心を鷲掴みにします。

もう1本、『ロシュフォールの恋人たち』は、カラフルな色彩にときめく映画、白を基調にたくさんの色を散りばめて、それはもう素晴らしいの一言。ジョージ・チャキリスやジーン・ケリーといったハリウッドのミュージカルスターの参加やミシェル・ルグランの洒落たピアノ等、制作された当時でも時代の最先端をいっていた作品だと思えます。

とにかくこの2本は「素敵」の2文字につけるんじゃないでしょうか。本物がスクリーンによみがえるのは本当に嬉しいこと。フランス的ロマンティズムとは何かを私たちに教えてくれる“シェルブール”と“ロシュフォール”。時代を切り開いた真の芸術を1人でも多くの方に観ていただきたいと心から思います。

—— 假屋崎省吾 さん(華道家)

カトリーヌ・ドヌーヴ (主演)
Catherine Deneuve



ジャック・ドゥミ (監督・脚本・作詞)
Jacques Demy



ミシェル・ルグラン (音楽・作曲)
Michel Legrand



俳優の両親のもとパリに生まれる。学生時代から映画に出演し、主役に抜擢された『シェルブール』で大ブレイク。続くR・ボランスキー監督『反撥』(64)で演技面でも高い評価を得る。以後トリュフォー、ブニュエル、メルヴィルら巨匠と組む代表作を連発する傍ら米映画界にも進出。90年代以降はオゾン、デブレジャンら若手監督と積極的に組む。近年M.A.Cやルイ・ヴィトンのキャラクターを相次いで務めるなどファッションアイコンとしても現役であることを示し、仏映画界の“女王”として君臨中。『終電車』と『インドシナ』で仏セザール主演女優賞受賞、後者は米アカデミー候補にも。『ロシュフォール』で息のあった共演を見たフランスワーズドルレックは実姉(67年交通事故で逝去)。

1931年6月5日生まれ。港町ナントで少年期を過ごし14歳で監督を志す。長篇第1作の『ローラ』(61)は巨匠小・メルヴィルに『ヌーヴェルヴァーグの真珠』と激賞される。難産の末発表した『シェルブール』でその年の主要映画賞を総なめに。続く『ロシュフォール』で長年の夢だったオールスターキャストによる本格ミュージカルを実現した。その後200万人動員の大ヒット作『ロバと王女』(70)を発表するも企画が次々に頓挫する等、不遇をかこつ。そんな時期に手がけたのが日本資本による『ベルサイユのばら』の映画化(79)だった。90年10月27日逝去。夫人はこちらも名匠のアニエス・ヴァルダ監督(『幸福』『落穂拾い』)

1932年2月24日生まれ。パリ国立高等音楽院在学時からプロ活動を行ない、仏内外の有名アーティストの作編曲で音楽界の寵児に。60年『アメリカの裏窓』の音楽がきっかけとなりゴダールらヌーヴェルヴァーグ派からオファーが相次ぐ。ドゥミとの交流は『ローラ』から。以降連作『思い出のマルセイユ』(88)までほぼ全作を担当する名コンビとなった。68年『華麗なる賭け』がアカデミー賞® 最優秀作曲賞、70年『おもいで(の夏)』がアカデミー賞® 最優秀作曲賞とグラミー賞の双方にそれぞれ輝く。現在も仏英米を問わず活躍中。09年2月に音楽を手がけた最新ミュージカル『マルグリット』が日本版キャストで上演予定。

シェルブールの雨傘

デジタルリマスター版
Les Parapluies de Cherbourg

感涙必至。ドゥミ+ルグラン+ドヌーヴ
3人の記念すべき初コラボレーション!

全篇詩情にみちあふれた美しい音楽と色彩に、文句なく魅せられました。

格調高い音楽映画の新しい魅力に
大きな拍手をお送りしたいと思います。

—— 石井好子 さん(歌手)



1964年 カンヌ国際映画祭グランプリ・国際カトリック映画事務局賞・フランス映画高等技術委員会賞受賞

1963年 ルイ・デリュック賞受賞

1964年 米アカデミー賞® 外国語映画賞ノミネート

共演ニノ・カステルヌオヴォ/アンヌヴェルノン/マルク・シエル
歌唱担当:ダニエル・リカール/ジョゼ・バルテル/クリスチャンヌ・ルグラン
製作:マク・ポダール/撮影:ジャン・ラビエ/美術:ベルナルド・エヴァン/衣裳:ジャクリヌ・モロー/
1964年フランス=ドイツ合作/オリジナルサウンドトラック:ソニー・ミュージック ジャパン/インターナショナル/私和対訳:シリアオ・白水社刊/上映時間91分 demy.jp

港町シェルブールで、ささやかだけれど美しい恋を育む若者ギイと少女ジュヌヴィエーヴ。しかしアルジェリア戦争の影が彼らに覆い被さろうとしていた。徴集されたギイの出兵前夜に結ばれたふたりだったが、彼の不在はジュヌヴィエーヴに堪えがたいものになってゆく。そして彼女はギイとの愛の結晶を宿していることに気づく——『哀愁』(40)から『つぐない』(07)まで悲恋映画は数々あれど、本作ほど観る者のこころを強く揺さぶる作品はないだろう。製作当時の政治背景を描きながら、それをミュージカル化してしまう斬新さ。ドヌーヴが着用するパーバリーのコートや数々のドレスといった衣裳と原色を大胆に使用した部屋のセットなど、見た目にも楽しい要素が満載だ。天才ルグランが創った歌曲のうち♪ I Will Wait For You や ♪ Watch What Happens (共に英語) はスタンダードとなった。

ロシュフォールの恋人たち

デジタルリマスター版
Les Demoiselles de Rochefort

なんとキュート! ドルレアック+ドヌーヴ
フランスきってのセレブ姉妹の共演

数々のミュージカルの名作の良さ、すばらしさ、
たのしさをすべて盛り込んで、それを甘く可愛い色彩で砂糖菓子のように
まとめた—そんな感じがいたします。

—— 大内順子 さん(ファッション評論家)



1968年米アカデミー賞®ミュージカル映画音楽賞ノミネート

共演:フランスワーズドルレアック/ジーン・ケリー/ジョージ・チャキリス/ジャック・ペラン/ダニエル・ダリウ/ミシェル・ピコリ
歌唱担当:アンヌ・ジェルマン/ロード・バロン/ジョゼ・バルテル/ジャック・ルヴォー/
製作:マク・ポダール/撮影:ジャン・ラビエ/美術:ベルナルド・エヴァン/
衣裳:ジャクリヌ・モロー/メイクアップ:ジャン・ラビエ/1967年フランス=アメリカ合作/
オリジナルサウンドトラック:ユニバーサル ミュージック (08年11月26日SHM-CD版で新発売)/上映時間127分 demy.jp

『シェルブール』の大成功から3年、オールスターキャストによるミュージカル大作を目指し巨額の製作費を投じて作られたのが本作。ドヌーヴの姉F・ドルレアック(『柔らかな肌』)のほか仏のスターたちに加えミュージカルの本場アメリカからビッグネームのジーン・ケリー(『雨に唄えば』)とジョージ・チャキリス(『ウエスト・サイド物語』)を招聘。前作とは一転、港町ロシュフォールを背景に、美しい姉妹を中心に繰り広げられる恋のさやあてを、心弾むメロディとダイナミックな踊りで綴るハッピーな人生賛歌に仕上げた。数年前の三菱自動車のTV-CFや日本映画『スウィングガールズ』でも使用された♪キャラバンの到着や、本作生まれのスタンダード♪マクサンスの歌など、ルグランの名曲の数々が全篇を彩る。双子姉妹の揃いのワンピース+ピンクのラメずくめのドレスなど、ファッションも楽しい。

配給:ハピネット / 宣伝:マジックアワー 特別協力:フランス政府観光局/協力:フランス大使館文化部・ユニフランス東京・東京日仏学院

2009年1月31日(土)より、同時ロードショー
特別鑑賞券絶賛発売中 1作品券¥1,500(『シェルブール』『ロシュフォール』いずれか1作品を鑑賞いただけます) 特別限定2作品券¥2,000にて発売

★1/24(土)よりジャック・ドゥミセレクション開催(土日13:05~) ★2/14(土)23:40~ オールナイトルグランナイト開催(会場・お問合せ:シネセゾン渋谷)

道玄坂ザ・プレイム6F シネセゾン渋谷

www.cinemabox.com/ 03-3770-1721 全席指定(初回を除く)

公開初日プレゼント シネセゾン渋谷にご来店のお客様の中から抽選で100名様に「南仏トルドックのフレグランス付き色紙集」をプレゼント

シネセゾン渋谷 上映時間	A.1/31(土)~2/20(金)	B.2/21(土)~	2/14(土)~ 2/20(金)
	10:00 『シェルブール』	11:10 『ロシュフォール』	11:00 『ロシュフォール』
	12:05 『シェルブール』	13:50 『ロシュフォール』	12:05 『ロシュフォール』
	14:10 『シェルブール』	16:40 『シェルブール』	21:05 『ロシュフォール』
	16:25 『ロシュフォール』	18:40 『ロシュフォール』	の上映あり
	19:00 『シェルブール』	21:20 『シェルブール』	

※各回入替制になります。あらかじめご了承ください。

2/14(土)~
京急 黄金町駅 徒歩3分
横浜シネマ・ジャック&ベティ
045-243-9800

2/14(土)~
小田急 新百合ヶ丘駅 北口徒歩3分
川崎市アートセンター
044-955-0107